

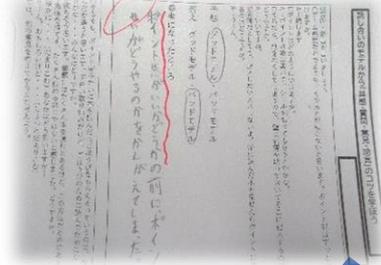
高学年の研究（授業の実践例）

第5学年 単元名「よりよい学校生活のために」

学習の内容

- 言語活動を充実させる時間を設けた。
 - ・ワードウルフ、マンションの住民、水平思考ゲームなど 15 分以内で常時言語活動を行い、言葉に関わる機会を設けた。話しやすい雰囲気、間違えてもいい雰囲気を大切にさせた。
- 話し合いのグッドモデルバッドモデルを提示した。
 - ・バッドモデルとグッドモデルのビデオを見比べ、話し合いをよりよくするためには、どのように進めたらよいかを考えさせた。
- 共感・質問・意見（助言）の3ステップを意識させた。
 - ・まとめ（合意形成）のための材料が揃いやすいように3ステップを設けた。また、話し合いの中で何を言えばいいかわからない児童にも、3ステップの中から発言することを指導していくは効果的だと考え、資料を活用させた。

話し合いのビデオをみて…

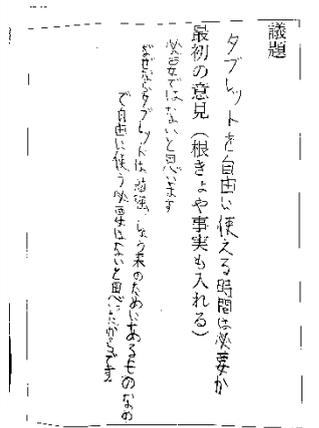


【話し合い活動】

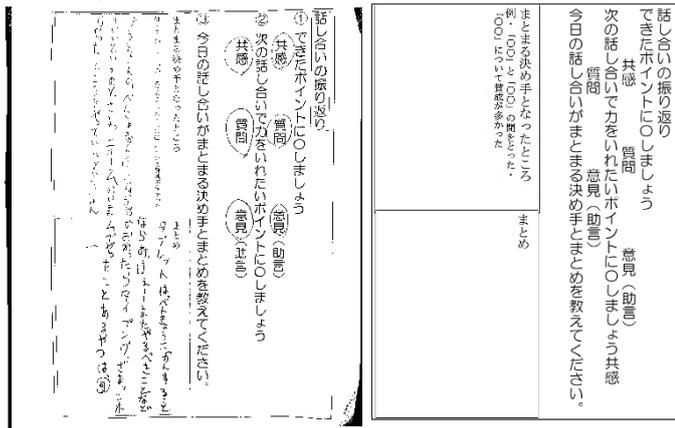
- ・司会者を決めず、話し合いを進めた。
- ・1つのテーマについて話し合い、間をとったり、意見を組み合わせたりした結果になるようにした。



意見シート



振り返りシート



相手意識・目的意識の 明確化

共感・質問・意見（助言）の3ステップを意識させることによって、相手の話の主訴の把握や自分の考えとの比較、アウトプットがしやすくなったと感じた児童が多かった。3ステップができたかどうかを振り返ることで、次の話し合でどのステップを向上させるか考えるきっかけとなり、活発な話し合いに向けて「目的意識」も持ちやすかったように感じた。

自信をもって表現できるようにするための工夫

話し合いのバッドモデルとグッドモデルの動画を作成し、語彙形成に向けてどのように3ステップを取り入れるのかを学ばせた。児童が同じ話し合いのシーンを見て考えることで、3ステップの使いどころを解説しやすかった。児童も、気に入ったシーンを繰り返し確認できたので、動画作成は後の話し合いに向けて、よい資料になったと言える。

振り返りと 学習評価の充実

話し合いの中でどの3ステップが上手くできたか、また、次の話し合いでどのステップをより意識するかを振り返らせた。また、合意形成したきっかけとなる意見も確認させ、グッドモデルとして印象付けさせた。また、話し合いで力を入れたことを書かせることで、次の学びにもつながるよう意識させた。